

発行日 平成25年10月15日
発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会
神戸市中央区神若通5丁目3番26号
(中山記念会館内 神戸ライトセンター)

第27回兵庫県朗読ボランティア連絡会交流会のご案内

日時: 2013年11月19日(火)
13:00~16:00 (12:30開場)

場所: 兵庫県民会館 9階「けんみんホール」

<プログラム>

第1部 朗読発表

ピアの会(西宮市)

『再会』

内海 隆一郎 著 「人びとの旅路」より

むつみ会(高砂市)

『平和への想い』

谷川俊太郎 詩集 「こころ」

松谷みよ子 著 「ミサコの被爆ピアノ」より

第2部 お話 「狂言のいろは」
公演 「寝音曲(ねおんぎょく)」
講師 茂山逸平氏



ポシエツト 118号でご案内をいたしましたところ、多数のお申込をいただきました。ありがとうございます。皆様にお楽しみいただけるよう、只今準備を進めているところです。

当日券もございますので、お申し込みいただいている方もお気軽にお越し下さい。



交流会の詳細を ご紹介します！

朗読発表 むつみ会

『平和への想い』

谷川俊太郎 詩集 「こころ」
松谷みよ子 著
「ミサコの被爆ピアノ」より

あなたのことを忘れない。東北への想い、
平和への想いを「ことば」にのせて・・・
こころの言葉を届けている谷川氏の詩と、
2005年によみがえった被爆ピアノのお話
です。

朗読発表 トピアの会

『再会』
内海隆一郎 著
「人びとの旅路」より

グラフィック・デザイナーの岩崎さん
は、出張先のホテルで離婚した元妻
と娘の消息を知る。娘が画家になり、
初めての個展を開くという記事に、血
の繋がりを強く感じた岩崎さんは、二
十年ぶりに会う決心をする。



お話と狂言

お話と狂言



講師 茂山逸平氏

関西を中心に古典狂言からTV出演等、幅広い役をこな
し活躍中。伝統の技を見事に継承し、現在の笑いが融合
した新作狂言で、広範囲な年齢層に人気を受けている。

第2部前半の「狂言のいろは」では、伝統芸能であるが
ゆえに難しいと思われる狂言を、わかりやすく解説し
てくださいます。狂言の観賞の仕方・楽しみ方など、今
日一日で狂言の魅力を学ぼう。

公演 狂言「寝音曲」 あらすじ

主人は、前夜その門前を通りすがりに聞いた太郎冠者の謡をまた聞きたいと所望する。
冠者はたびたび謡わせられては困ると考え、素面では謡えない、酒を飲まないで謡えない
と注文をつける。さらに妻の膝枕でなければ声が出ないなどといい、結局主人の膝枕で謡
うことになる。朗々と謡い始めた冠者の上体を主人が起こしてみると声はかすれて出な
い、おろすと良い声になる。良い声と悪い声の使い分け、それを取り違えて行く演技の推
移が見どころです。

《朗V連からのお願い》

当日の交流会の座席は自由席ですが、グループ毎にご紹介させていただきますので、ご協力をお願いします。



特 集

[障がい者への災害時対応策について]

市町村	現 状	取り組み	対応策
篠山市	「ささやまママに見守り隊」を3月に結成(篠山市高齢者障がい者ネットワーク事業)	日常での見守りが災害時にも活かせるように行政が支援対応している。	一時避難所・市内の民間老人施設へ身を寄せる協定を結ぶ。
丹波市	地元自治会・消防団・民生児童委員等が協力、避難の手助けが速やかに安全に行われる仕組みを作っている。	不安のある方は、自治会役員・民生児童委員等に相談して下さいと、呼びかけている。名簿作成の為に自主申告。	防災時要援護者関連施設の設定(病院・児童施設、高齢者福祉施設・障がい者福祉施設等)
神戸市	「神戸市における災害時の要援護者への支援に関する条例」とガイドラインを制定。(平成25年4月・8月)	日頃からの声かけや防災訓練への働きかけなど平常時の支援について幅広く規定。	地域で取り組みが進めて行けるように情報の提供、研修会の開催専門家の派遣等を行う予定。
三木市	危機管理課が災害時要援護者の名簿を作成。民生委員・自治会で把握。	はばたきの丘・支援学校・精愛園・民間の特養に障がい者の避難所設置。	命のカプセルでは、消防署が2年前より推進し、各個人が自宅の冷蔵庫に保管している。(現在30,612の利用者がある)
高砂市	災害時支援制度を設け、民生委員が訪問、実態調査を行い自治会で確認し名簿作成。	自治会と民生委員が連携し電話連絡又は直接自宅訪問。	障害者協会に属していないひとの把握・登録が課題。
太子町	自治会役員・民生委員・近隣の住民・親族に声をかけて誘導してもらう。	たつの健康福祉事務所に登録すると、戸別の声かけを消防署が行う。	3年毎に役場から自治会に困っていないか問い合わせをする。
洲本市	個人情報ネックで名簿の整理が出来ていない。障害者手帳を手がかりにリストアップ。	民生委員が安否確認。ペットボトルに連絡先・家族の情報を入れ保存する方法が広まっている。	市でもペットボトル方法を取り入れ実施しようと考慮中。
洲本市の利用者さん	地震・台風時、一人ではとても怖い思いをしている。	安否確認の電話だけでもして欲しい。	今回、利用者さんからの声を受けグループ潮騒では、担当をきめて安否確認の電話をするように話し合いをした。
洲本市ひとみの会	要援護台帳に申請している人の名前が掲載されている。	安否確認の方法。	
まとめ	災害時支援制度により各市町ともマニュアル作成と実施に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> * 手帳を持たない要援護者の把握がネックとなっている。 * 自治会・民生委員により情報収集中。住民の協力・住民参加型を推進し大地震・風水害に対する備えが第一。 * 今、私たちに何が出来るか。何に取り組めばいいのでしょうか。この機会に、グループで話し合い下さい。 	



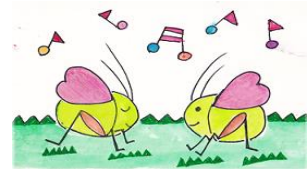
アイライトフェア2013

～ 視覚障害のトータルサポートにおける相談支援の役割 ～

日 時 平成 25 年 11 月 3 日 (日) 13:00～16:30
 場 所 神戸市立葺合文化センター 大ホール (神戸市中央区旗塚通 4-4-1)
 参加費 無 料
 催 物

- ☆ ミニコンサート
- ☆ 基調講演

演題 視覚障害のトータルサポートにおける相談支援の大切さ
 講師 日本ライトハウス理事



日比野 清 氏 (元 佐野短期大学社会福祉学科教授)

- ☆ パネルディスカッション
 (各地の視覚障害専門相談の方々をお招きしています)

問い合わせ先 : 神戸アイライト協会 (KLC) 電話 : 078-252-1912
 (当日参加も大歓迎ですが、準備の都合上、可能な方のご連絡いただければ幸いです)



第 15 回 山朗研一日研修会に参加して

8 月 29 日・9 月 5 日・9 月 6 日の 3 日間、神戸市東部在宅障害者福祉センター 2 階で開催されました。参加者は延べ 200 名。参加された手記を寄せて頂きました。

私が参加した日は 70 名でした。12 グループに別れて、短編小説と、山田先生のエッセイを教材に学習しました。日頃の練習とは違い、初めて出会う先生と仲間・・・そんな緊張感は、先生の熱意あるご指導のもとで読み繋いでいくうちに消えてゆき、あっという間の学習時間でした。最後にグループごとに発表して、山田先生からご講評を頂きました。今回、久しぶりに参加させて頂き、全体のレベルがずいぶん上がっていると感じました。

比の会 屋葺 智子

★★

V 連へのお問合せ、ご意見ご要望がございましたら、下記担当幹事までお知らせください。

ブロック	地 区	氏 名
A	東部・北部地区	松 本 喜代子 (朗読 V かけはし)
B	神戸・明石地区	本 郷 のぞみ (山朗研)
C	淡 路 地 区	余 川 深 雪 (朗読 G 潮騒)
D	東 播 地 区	中 根 弘 子 (三木市朗読 V むれの会)
E	西 播 地 区	福 島 悦 子 (太子町朗読 G 言の葉)

ポシエットの内容に関するご連絡、ご質問は、
 携帯電話 080-5703-8543 (朗V連代表) までご連絡ください。